

令和2年度使用中学校用教科書

選 定 資 料

数 学 編

令 和 元 年 6 月

愛 知 県 教 育 委 員 会

数 学

教科書選定の基本的な考え方

○ 学習指導要領の教科の目標に一致していること

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

○ 学習指導要領解説における改善のポイントを取り上げていること

ア 数学的な思考力・表現力を高めたり、数学を学ぶことの楽しさや意義を実感したりすることができるよう、数学的活動の充実が図られている。
イ 新しい学習内容を学習する際に、既習内容を再度学習するなど、学び直しの機会が効果的に設定されている。

○ あいちの教育の基本理念に照らして適切な事項が示されていること

「自らを高めること」と「社会に役立つこと」を基本的視点とした「あいちの人間像」の実現
（「あいちの教育ビジョン2020」より）

選定資料（数学）作成の観点・着眼点

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとり学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。
2 「あいちの教育の 基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。
3 内 容 等	(1) 内容の選択 ア 数学的な概念・原理・法則の理解のための工夫がされているか。 イ 数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てるために、内容の選択は適切であるか。 ウ 生徒の意欲を高め、主体的に問題に取り組ませるために、内容の選択は適切であるか。 エ 数学的活動について、どのように配慮されているか。
	(2) 内容の程度 ア 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために工夫がされているか。 イ 補充的な学習や発展的な学習の内容の程度は適切であるか。 ウ 実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材が工夫されているか。
	(3) 内容の構成 ア 導入・説明文・例題・問題などの配列や関連付けが適切であるか。 イ 各領域及び各学年の分量は適切に配分されているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の配列や分量は適切であるか。
4 表記・表現及び使 用上の便宜等	ア 用語・記号の指導に工夫がされているか。 イ 単元や章の展開・項目・資料などが利用しやすく工夫されているか。 ウ 生徒の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。 エ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領との 関連	ア 教育基本法、学校教育法にのっとり学習指導要領の趣旨を踏まえ、効果的に編集されているか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特徴・長所等
2 東 書	<p>ア 学んだことを繰り返し確かめることで、着実に基礎的・基本的な知識・技能を習得し、生かしたり深めたりしていけるよう編集されている。</p> <p>ア 考え方を説明したり、話し合ったりする活動を多く取り入れ、数学的な思考力・表現力を高められるよう編集されている。</p>
4 大 日 本	<p>ア 学習課題を細かく設定し、知識・技能の習得までの過程が整理されており、見通しをもって学びを進められるよう編集されている。</p> <p>ア 調べたり説明したりする活動や発展的な内容を取り入れ、数学的な思考力・表現力を高められるよう編集されている。</p>
11 学 図	<p>ア 単元の導入や説明等で図や絵などを豊富に用いて興味・関心を高め、繰り返し練習することにより基本的な技能が定着するよう編集されている。</p> <p>ア 学習のつながりを意識した問いを設定し、学ぶことの意義を実感しながら数学的な思考力・表現力を高められるよう編集されている。</p>

17 教 出	<p>ア 学習課題やつまずきを明確に示すとともに、単元末のまとめや領域ごとの練習問題により、知識・技能が定着するよう編集されている。</p> <p>ア 既習内容を活用する発展的な問題を位置付け、数学を学ぶことの意義を実感し、数学的な思考力・表現力を高められるよう編集されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 複数場面での既習事項の振り返りや、領域をまたぐ問題を設定し、基礎的・基本的な知識・技能が定着するよう編集されている。</p> <p>ア 既習内容を活用したり、自分の考えをさらに広げたり伝えたりする活動を取り入れ、数学的な思考力・表現力を高められるよう編集されている。</p>
104 数 研	<p>ア 学年間の関連を図った既習内容の学び直しや、基本から応用までの豊富な問題により、知識・技能が確実に定着するよう編集されている。</p> <p>ア 既習内容を利用したり発展させたりする場を設定し、それを活用しながら数学的な思考力・表現力を高められるよう編集されている。</p>
116 日 文	<p>ア 個に応じて学習内容の定着を図る問題を多く設定し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付け、深められるよう編集されている。</p> <p>ア 既習内容を活用し、生活に広げて利用する場を設定し、数学的な思考力・表現力を高められるよう編集されている。</p>

観 点	着 眼 点
2 「あいちの教育の基本理念」との関連	ア あいちの教育ビジョン2020に掲げられた「あいちの教育の基本理念」に資する特色が見られるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 身近な事象や日常生活場面でのデータをもとに、数学で学習したことを生かして考え直し、社会で生かす方法が分かるよう工夫されている。 ア 古代の歴史や和算・伝統工芸などの話題を取り入れ、伝統を継承しながら世界に視野を広げていくことができるよう工夫されている。
4 大 日 本	ア 環境や福祉、防災などの社会的な課題に対する意識を高め、生命や自然を大切にす態度を養うことができるよう工夫されている。 ア 世界や日本の自然、生活、歴史に関する場面などからの導入や、数学を活用する人々の話題により、社会への生かし方を学べるよう工夫されている。
11 学 図	ア 見つける、伝える、活用するなどの学習場面で協同的な学習を示し、自他を大切にしながら学びを進められるよう工夫されている。 ア 日常生活での体験や職業に関する話題が多く取り上げられ、身に付けたことを実生活に活用し、社会に生かせるよう工夫されている。

17 教 出	<p>ア 数学の学習で使われる大切にしたい考え方を示し、多様な見方で解決する中で視野を広げ、自らを高めていけるよう工夫されている。</p> <p>ア 身近な話題や現代社会の話題などを取り上げ、数学を実際の生活や社会に生かし、役立てていけるよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 自分でまとめて理解を深める場や、友達と話し合っ解決していく場などを多く設け、自他を大切に学んでいけるよう工夫されている。</p> <p>ア 実生活や社会・歴史と関連する話題を多く示し、数学が継承・創造されていく過程に触れながら学習が進められるよう工夫されている。</p>
104 数 研	<p>ア 単元の導入で、日常生活で見たり触れたりしている場面を示し、興味・関心をもって自ら学びを進め、高められるよう工夫されている。</p> <p>ア 実生活や他教科との関連が図られ、さまざまな見方で数学を生かしたり、役立てたりすることができるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 学んだことを活用して取り組む課題や、ICT機器を活用する内容や方法を示し、次代を展望し自らを高めていけるよう工夫されている。</p> <p>ア 環境や防災に関する題材などの今日的な話題を多く示し、身に付けた内容を実生活や社会に役立てていけるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (1) 内容の選択	<p>ア 数学的な概念・原理・法則の理解のための工夫がされているか。</p> <p>イ 数学的な見方や考え方のよさを知り、それらを進んで活用する態度を育てるために、内容の選択は適切であるか。</p> <p>ウ 生徒の意欲を高め、主体的に問題に取り組ませるために、内容の選択は適切であるか。</p> <p>エ 数学的活動について、どのように配慮されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 「ちょっと確認」やキャラクターのつぶやきで学習の見通しをもたせ、数学的な概念・原理・法則を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 章末の「活用の問題」や巻末の「もっと数学しよう」で、既習事項を活用するような題材を取り上げ、数学のよさを味わえるよう工夫されている。</p> <p>ウ 本文中の「もっと練習」や巻末の「補充の問題」で、個に応じた練習問題を設定し、家庭学習等でも利用できるよう配慮されている。</p> <p>エ 章のとびらに作業的な活動を設定し、その活動をもとにして、書き込みながら学習を深められるよう工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>ア 学習内容ごとに目標が示されており、1単位時間内に見通しをもって概念・原理・法則を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 各章に「利用」の節が設けられており、身近な問題を通して数学的な見方や考え方のよさを味わい、学習内容の理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>ウ 1単位時間に必要な既習事項の確認、補足説明、補充問題を設定し、個々に教科書を活用して主体的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>エ 「深めよう」「表現しよう」など、既習事項を活用する課題を取り入れ、気付きを生かしながら学習を深められるよう工夫されている。</p>
11 学 図	<p>ア 新しく学習することがらの目標を示し、「クローズアップ」で関連項目を取り入れ、概念・原理・法則を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 章末に身近な問題や発展的な問題を設け、既習事項を活用して数学の見方や考え方のよさを味わえるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各章の導入で操作的な活動を取り入れ、学習する動機を明確にするなど、見通しをもって主体的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>エ 「見つける」「活用する」「伝える」という場面を設定し、多角的に追究できる課題を取り上げ、学習を深められるよう工夫されている。</p>

17 教 出	<p>ア キャラクターのつぶやきを取り入れ、章末の「学習のまとめ」で学んだ内容を振り返ることで、概念・原理・法則を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 解決の過程で必要な数学的な見方や考え方を示し、数学のよさやおもしろさが味わえるような題材を巻末に多く取り上げる工夫がされている。</p> <p>ウ 各章の導入で関連する既習事項の復習や学習につながる課題を設定して学習意欲を高め、主体的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>エ 章末を中心に「数学の広場」や発展の問題を設定したり、学習したことを活用する課題を取り入れたりして、学習を深められるよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 色囲い枠を用いてポイントを押さえ、キャラクターのつぶやきやイラストを用いて、概念・原理・法則を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 「みんなで話しあってみよう」ではいろいろな見方や考え方に触れ、「千思万考」では数学的な見方や考え方を進んで活用するよう工夫されている。</p> <p>ウ 既習事項の確認、補足説明、ポイントとなる見方や考え方、関連する巻末の補充問題の番号を示し、学び直しができるよう配慮されている。</p> <p>エ 章のとびらや章末だけでなく、随所に数学的活動を取り入れ、数学を学ぶことの楽しさやよさを実感できるよう工夫されている。</p>
104 数 研	<p>ア 色囲い枠を使って既習事項や解決に至る手順を明示し、数学的な概念・原理・法則を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 章末の「発展」や巻末の「数学探検」に既習事項を活用する題材を設定し、数学的な見方や考え方のよさを味わえるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻頭の「クイックチャージ」や本文中にある「ふりかえりマーク」などを用い、必要に応じて学び直しや既習事項の確認ができるよう配慮されている。</p> <p>エ 随所に数学的活動に取り組む場面を設定し、気付きを生かして学習が深められるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 色囲い枠を使ってポイントを押さえ、既習事項の振り返りを示すことで、概念・原理・法則を理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 「数学のたんけん」や「数学研究室」で学習した内容に関連した題材を取り上げ、数学的な見方や考え方のよさを味わえるよう工夫されている。</p> <p>ウ 章の導入の学び直しの問題や、追加問題として「チャレンジ」を設定するなど、個に応じて主体的に学習できるよう配慮されている。</p> <p>エ 章のとびらや節の始めに数学的活動をとまなう場面を設定し、筋道を立てて説明し伝え合う活動を通して学習を深められるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (2) 内容の程度	<p>ア 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るために工夫がされているか。</p> <p>イ 補充的な学習や発展的な学習の内容の程度は適切であるか。</p> <p>ウ 実生活・実社会に関連付けられるような記述や題材が工夫されているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 基本の内容では、「例」、「たしかめ」の順に構成することで、学習内容を理解した後、問題演習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>イ 適切な補充問題が準備されており、巻末には各章の学習や他教科とのつながりをもった問題を取り上げ、応用力を高めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各章・各節の導入や章末・巻末の課題の中で、実生活や社会に関連する記述を取り入れ、身近な問題として扱えるよう工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>ア 繰り返し練習できるように、節末・章末・巻末に豊富な問題を用意し、学習内容の定着を図れるよう工夫されている。</p> <p>イ 「プラス・ワン」等適切な補充問題を準備し、巻末に発展問題を取り入れるなど、興味・関心が高まるよう工夫されている。</p> <p>ウ 各章末に学習内容と実社会にリンクしたコラムを掲載し、他教科とのつながりを意識できるよう工夫されている。</p>
11 学 図	<p>ア 基本の問題では「例」の後に解答をノート形式で示し、見通しをもって学習に取り組み、学習内容の定着を図るよう工夫されている。</p> <p>イ 章末問題を基本・応用・活用に分けて出題したり、巻末に「課題学習・自由研究」をまとめて掲載したりして、個に応じた学習活動が工夫されている。</p> <p>ウ 章末・巻末の発展問題で身近な題材を取り上げ、実生活や社会とのつながりを意識できるよう工夫されている。</p>

17 教 出	<p>ア 章末に「学習のまとめ」を配置して身に付けさせたい学習内容を示し、振り返りや学習内容の定着を図るよう工夫されている。</p> <p>イ 章末に適切な内容の補充問題を豊富に準備し、発展問題では、主体的に学習に取り組めるような題材を取り入れるよう工夫されている。</p> <p>ウ 本文中に、学習内容と実生活の関連について記述されており、発展問題や章末の問題において、身近な課題を取り上げるよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 問題演習を随所に位置付けたり、パターンの異なる問題を取り上げたりして、個に応じて主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>イ 巻末の「くり返し練習」をはじめ、適切な内容の補充問題を用い、興味・関心に応じた発展的な学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 導入の題材や本文中のコラム、巻末の課題の中で、実生活や社会と関連する記述があり、身の回りの題材を取り上げるよう工夫されている。</p>
104 数 研	<p>ア 「例」では、適切な問題を設定することで、解決の過程を示し、学習内容を確認しながら基礎・基本の定着を図れるような工夫がされている。</p> <p>イ 「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」や「数学探検」など、豊富な補充問題と多様な発展問題があり、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 導入の題材や本文中のコラム、巻末の課題の中で、生活体験や他教科とのつながりのある課題を取り入れるよう工夫されている。</p>
116 日 文	<p>ア 本文が、生徒の思考の流れに沿って「例」、「問題」の順に構成されており、学習内容を確認しながら基礎・基本の定着を図るよう工夫されている。</p> <p>イ 章末に適切な補充問題を準備したり、興味・関心に応じて取り組むことができる発展的な課題を設定したりして、主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>ウ 本文中のコラムや巻末に、実社会や他教科とつながりのある課題を設定し、身近な問題として取り組めるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
3 内容等 (3) 内容の構成	ア 導入・説明文・例題・問題などの配列や関連付けが適切であるか。 イ 各領域及び各学年の分量は適切に配分されているか。 ウ 補充的な学習や発展的な学習の配列や分量は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 章の導入において学習課題を示し、例題や問題を工夫することで、つまづきに対してきめ細かな対応ができるよう工夫されている。 イ 繰り返し練習できる機会を確保し、習熟に応じた分量の配分が工夫されている。 ウ 巻末に「ふりかえり」「補充の問題」「活用の問題」を掲載するなど、個に応じて補充的な学習や発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。
4 大 日 本	ア 1単位時間の学習内容を見開き2ページにまとめ、練習問題を充実させて、学習を深めることができるよう工夫されている。 イ 反復練習により学習内容の習熟を図ることができるよう工夫されている。 ウ 章末、巻末に繰り返し練習できる補充的な問題や「もっと数学！」などの発展的な問題を掲載するなど、主体的に学習できるよう工夫されている。
11 学 図 図	ア 章の導入問題で数学的活動を取り入れ、例題や問題を充実させて、学習のつながりを実感できるよう工夫されている。 イ 反復練習の機会を確保し、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。 ウ 各章末に「まとめの問題」や「深めよう」が掲載され、補充的な学習や発展的な学習が適切に行えるよう工夫されている。

<p>17</p> <p>教 出</p>	<p>ア 章の導入において既習事項を確認し、章ごとに基礎的・基本的な事項のまとめを確認することができるよう工夫されている。</p> <p>イ 反復練習により基本的な学習内容の習熟を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 「練習問題」を掲載したり、「数学の広場」を各章末に掲載したりするなど、学習内容を確実に身に付け深められるよう工夫されている。</p>
<p>61</p> <p>啓 林 館</p>	<p>ア 既習事項の確認、説明、例題、問題というステップを設定することで、つまずきに対応できるよう工夫されている。</p> <p>イ 反復練習により基礎的・基本的な内容の習熟を図れるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末に「力をつけよう」や「数学広場」を掲載し、実態に合わせて補充的な学習や発展的な学習ができるよう工夫されている。</p>
<p>104</p> <p>数 研</p>	<p>ア 章の導入問題を工夫し、例題とその解説を丁寧に記述することで、主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>イ 繰り返し練習できる機会を十分確保し、基礎・基本が定着するよう工夫されている。</p> <p>ウ 章末問題を「基本」「問題A」「問題B」に分けたり、発展的な問題を扱う「やってみよう」を掲載したりして工夫されている。</p>
<p>116</p> <p>日 文</p>	<p>ア 1単位時間の学習内容を見開き2ページにまとめ、練習問題を充実させて、内容の定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>イ 反復練習により基礎・基本の定着を図ることができるよう工夫されている。</p> <p>ウ 章末に「くり返し練習」や「とりくんでみよう」を掲載し、個に応じて補充的な学習や発展的な学習ができるよう工夫されている。</p>

観 点	着 眼 点
4 表記・表現及び使用上の便宜等	<p>ア 用語・記号の指導に工夫がされているか。</p> <p>イ 単元や章の展開・項目・資料などが利用しやすく工夫がされているか。</p> <p>ウ 生徒の興味・関心・意欲を高めるような、適切な表記・表現がされているか。</p> <p>エ 本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表などに適切な関連付けがされているか。</p>

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	<p>ア 用語や記号を理解する手助けとなるように、具体例を挙げたり、振り仮名を付けたりするよう工夫されている。</p> <p>イ 課題解決に必要な学習の振り返りができるように、「ちょっと確認」が適宜掲載され、数学的活動の課題や資料が細かく配置されている。</p> <p>ウ 考え方をまとめるノートの記載例を章末に掲載して振り返る場を設定するなど、関心・意欲を高める表記がされている。</p> <p>エ 課題解決に必要な思考の過程が分かりやすく伝わるように、挿絵や図・表が工夫されている。</p>
4 大 日 本	<p>ア 用語や記号の近くに図や写真だけでなく、説明を補足する内容が書かれており、理解しやすいよう配慮されている。</p> <p>イ 既習事項の振り返りが適宜書き込まれたり、学習内容を習得できるように補充問題が細かく配置されたりしている。</p> <p>ウ 興味・関心を高めるよう、実社会で活用されている数学的な事例を取り上げ、数学を学ぶ意義を感じる表記がされている。</p> <p>エ 単元への興味・関心を高めたり、学習場面を分かりやすくしたりするために写真や挿絵が工夫されている。</p>
11 学 図	<p>ア 用語や記号には振り仮名を付けるとともに、枠で囲み、図との併用で理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 必要に応じて振り返りができるように既習事項の記載ページを示すなど、利用しやすくなるよう工夫されている。</p> <p>ウ 章末には身に付けた考え方を活用して解決できるような身近な事象を取り上げるなどの表記がされている。</p> <p>エ 図や吹き出しから疑問をもったり、発見したりできるように、挿絵や図などがバランスよく取り入れられている。</p>

17 教 出	<p>ア 説明には背面を色づけし、カラーの図やイラストを使った説明も加え、用語や記号が理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 単元の始めに、関連する既習事項の振り返りがまとまっていたり、復習・まとめには、穴埋め式問題が示されたりしている。</p> <p>ウ 思考力を深める「チャレンジコーナー」や観点ごとの理解度を確認することができる章末問題などで意欲を高める表記がされている。</p> <p>エ 親しみやすいイラストを多数用いて、学習場面の把握がしやすいよう工夫されている。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 用語や記号には太字を使い強調するとともに、説明部分の背面を色刷りし、近くに図や写真を配置するよう配慮されている。</p> <p>イ 学習項目を補助したり、身に付けた考え方を発展させたりし、学習内容のつながりが分かりやすくなるよう工夫されている。</p> <p>ウ 別冊の「Math Nabi ブック」を本編との関連を示しながら配置し、理解度に応じた学習ができるよう工夫されている。</p> <p>エ 学習場面が視覚的にとらえやすいように、日常の様子を表す挿絵や吹き出しが豊富に取り入れられている。</p>
104 数 研	<p>ア 用語や記号は振り仮名を付けるとともに、太字を使い強調するなど視覚的にとらえやすい配慮がされている。</p> <p>イ 随時振り返りができるように、巻頭に既習内容がまとめられ、例題に基づいて考え方を習得できるよう工夫されている。</p> <p>ウ 巻末に意欲を高める「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」を設定し、単元ごとの理解が確認できるよう工夫されている。</p> <p>エ 学習内容が理解しやすくなるように、色分けされた図形や場面に応じた資料が多く取り入れられている。</p>
116 日 文	<p>ア 用語や記号には太字を使い強調するとともに、説明部分の背面を色刷りし、理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>イ 振り返りがしやすいように、単元の始めに学習で使用する考え方の既習内容を掲載し、反復練習が適宜配置されている。</p> <p>ウ 理解度に応じた学習ができる章末問題や観点ごとの理解度を確認することができる章末問題などで意欲を高める表記がされている。</p> <p>エ 学習内容を分かりやすくするために、色分けされた図や親しみやすい挿絵などが効果的に取り入れられている。</p>

観 点	着 眼 点
5 印刷・造本等	ア 印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等は適切であるか。 イ 造本の堅ろうさや体裁は適切であるか。

(注) 特徴・長所等欄の各項目先頭の符号は、着眼点との関連を表す。

発行者	特 徴 ・ 長 所 等
2 東 書	ア 淡い色彩を基調とし、字体や文字の大きさを効果的に変え、視覚的にも見やすく鮮明である。 イ 行間や余白を適切にとり、書き込みやすい紙質で、造本も堅ろうである。
4 大 日 本	ア 目に優しい緑色を主体とした色彩で、強調文字が効果的に使われ、鮮明度も適切である。 イ 行間や余白を適切にとり、表紙の紙質が厚く、丈夫なつくりで扱いやすい。
11 学 図	ア 全体的に体裁が整えてられており、字体や背景色も効果的に変えられ、鮮明ではつきりしている。 イ 書き込みやすい丈夫な紙質で、造本も堅ろうである。

17 教 出	<p>ア 色彩豊かなイラストや資料を用いたり、背景色を効果的に変えたりして、鮮明度も適切である。</p> <p>イ 紙面が有効に活用されており、造本も堅ろうである。</p>
61 啓 林 館	<p>ア 文字の大きさや強調文字が効果的に使われ、目に優しい淡い色彩を基調とし、鮮明度も適切である。</p> <p>イ 行間や余白を適切にとり、書き込みやすい紙質で、造本も堅ろうである。</p>
104 数 研	<p>ア 色彩豊かなイラストや資料を用いたり、文字の大きさを変えたりして、鮮明度も適切である。</p> <p>イ 紙面にゆとりがあり、書き込みやすい配置で、造本も堅ろうである。</p>
116 日 文	<p>ア 色彩豊かなイラストや資料を用い、書体を変えたり、強調文字を使ったりして、鮮明度も適切である。</p> <p>イ 書き込みやすい紙質で、滑りにくく造本も堅ろうである。</p>

発行者・書名一覧

発行者の番号・略称	発 行 者	書 名
2 東書	東京書籍株式会社	新編 新しい数学1、2、3
4 大日本	大日本図書株式会社	新版 数学の世界1、2、3
11 学図	学校図書株式会社	中学校数学1、2、3
17 教出	教育出版株式会社	中学数学1、2、3
61 啓林館	株式会社 新興出版社啓林館	未来へひろがる数学1、2、3 未来へひろがる数学 MathNavi ブック1、2、3
104 数研	数研出版株式会社	中学校数学1、2、3
116 日文	日本文教出版株式会社	中学数学1、2、3